

シンボルマーク



〈テーマ〉完全参加と平等

二人の人間が手を取り合い  
平等の立場から支えあっている  
姿を表現しており、平等、  
希望、支援を表しています。  
周囲の葉は、国連の紋章の一  
部です。

# みんなが参加し みんなが平等に暮らせる よりよい社会づくりを!!

## 今年 は 国際障害者年

昭和五十六年—今年 は「国際障害者年」です。  
昭和五十一年の国連総会で決定された世界的規  
模の行動で、テーマは、障害を持つ人の社会への  
「完全参加と平等」です。

障害をもつ人に対する理解と関心を深め、みん  
なが参加し、みんなが平等に暮らせるよりよい社  
会づくりをしようという年—「国際障害者年」に  
当たって、みんなまで考えましょう。

光町では、二百二十六人の人  
が心身に障害をもっています。  
平均寿命が延び、高齢化社会  
が進むにつれて脳卒中の後遺症  
などによる障害者が増えること  
もに、交通事故や労働災害など  
による障害者が年々増加する傾  
向にあります。  
わたしたちのだけれども障害者  
になる可能性をもっている…と  
いっても言い過ぎではありません。

障害者問題は、単に障害をも  
つ人だけでなく、わたしたち一  
人ひとりが自分自身の問題とし  
て理解し、幅広い社会的な連帯  
意識をもって解決していかなく  
ればなりません。

### 完全参加と 平等の実現を

「国際障害者年」のテーマは、  
障害をもつ人の社会への「完全  
参加と平等」という目標の実現  
にあります。

「参加」とは単なる社会生活  
への参加にとどまらず、さまざ  
まな分野で社会の発展に貢献す  
ることを意味します。

また、「平等」とは、障害者  
であるために不平等な扱いを受  
けることなく、経済的、社会的  
に他の一般の人と同じ生活を送



お母さんに見守られて歩行訓練

ることができていることにあります。  
このような目標の実現に向か  
って、国連では、国際障害者年  
について次のような原則を定め  
ています。

### 障害者問題は 社会全体の問題

障害をもつ人の問題は、特殊  
の問題として取り扱われるべき  
ではなく、社会全体として考え  
られるべきことからです。

### 身体障害者だけが 障害者ではありません

障害とは何か—多くの人は「身  
体の動きの支障」と考えている  
ようです。しかし、一口に障害  
者といっても、さまざまなケ  
スがあります。

### 障害者に不利な 社会条件を見直そう

障害という問題は、その人自  
身にあるのではなく、障害者個  
人とその社会環境との関係から  
生まれる—という考え方に立つ  
ことが大切です。  
わたしたちの社会は、今なお  
身体的、精神的な機能を完全に  
備えた人々の欲求を満たす方向

たとえば、耳がまったくきこ  
えない人や難聴の人をはじめ、  
目の不自由な人、精神薄弱者や  
精神病者など、いろいろな障害  
をもっている人がいます。  
そのため、問題の解決法もさ  
まざまです。このような障害者  
の実態を広く一般に知らせ、理  
解を得ることが重要です。